

アネハツル

の話



アネハヅルは、体長約90cmで、北海道にいるタンチョウとくらべると、こんなに小さい体です。世界最小の鶴といわれています。



タンチョウヅル

身長120cm～150cm



アネハヅルは夏の間、モンゴルにいて、冬になると南に向かってとびたちます。



とくにインドに行くコースは、とちゅうヒマ
ラヤ山脈をこえなければならないので、
たいへんです。



ヒマラヤ山脈は高さなんと8000m
をこえます！一番高いチョモランマは
8850m。空気が薄く、人間が登るの
もたいへんです。



冬になると、アネハヅルはなかまといっしょに
モンゴルを飛び立ちます。めざすはインドです。
ヒマラヤのふもとまで来ると、年に何回かしか
吹かない上昇気流の風をじっと待ちます。



いよいよそのときがやってきました。なかまとともに風に乗る、いっきに飛び上がります。
このときの気温はなんと -40°C ！



高さ8000mをこえる大飛行です。ここで下に落ちてしまうと、こわいイヌワシのえさになってしまいます。



まさに命がけで飛び、なんとか無事に
ヒマラヤを越えることができました。



地元には、このアネハヅルのがんばりをたたえる歌やおどりがあるそうです。

インドで一冬を過ごしたあと、春になるとまたモンゴルに帰っていきます。



立派な姿で、お姉さんのような美しい羽をも
つツルということで、姉羽鶴（アネハヅル）と
名付けられました。

今日は始業式。わたしたちもこのアネ
ハヅルのように、なかよく出発し、

りっぱな姿で、助け合い、励まし合い
ながら、いろいろなことを乗り越えてい
きたいものです。



これで

「アネハズル」のおは

なしをおわります。

